

政田 俊明 院長

Masada Toshiaki



1998年に医学部卒業後、大阪市立大学整形外科入局。人工関節などで知られる市立吹田市民病院などを経て、西宮渡辺病院の西宮人工関節センター開設時から人工関節置換術など多くの専門治療に従事する。外科的治療だけでなく、リハビリテーションや骨粗しょう症予防にも関わりたいとの思いから2017年、西宮に自院を開業。

ですが、不安で来られた方に最後は笑顔で帰ってもらいたいです」患者本位の治療を心がける政田院長だが、さらに注目すべきは西宮渡辺病院のオープンシステム（開放型病床を活用し、協力して手術を行っていることだ。

「整形外科手術が必要な患者さんを紹介し、自身も手術に立ち会って術後の経過も一緒に診ていくことで、患者さんがより安心した環境で手術に臨むことができます」MRI検査に関しても、西宮渡辺病院の予約システムと直接連携

「骨のかかりつけ医」として  
骨折などに至る前の予防医療に注力

JR西宮駅北口から徒歩1分とアクセス至便な場所にある「まさだ整形外科」。膝や股関節を専門とする政田俊明院長が開業したクリニックで、広々とした空間にホテルのフロントのような待合室やリハビリテーション室などがゆったりと配置されている。

かつては同市にある西宮渡辺病院で人工関節置換術などに数多く携わってきた政田院長だが、開業に至った経緯を「疾患がひどくなる前に地域のかかりつけ医で予防医学に取り組み、将来的に手術になる方が減ると考えました。当院が「骨のかかりつけ医」を提唱



1 感染症対策もされており、安心感のある受付 2 患者との信頼関係を築くため、丁寧な診療を行う 3 待合室には外からの光が差し込み、温かみのある雰囲気

しているのとはそんな思いがあるからです」と話す。悪くなる前に誰でも気軽に受診できるクリニックの運営をめざしている。現在、介護や支援が必要な高齢者の約4分の1に何らかの整形外科疾患があるとされている。中でも圧倒的に多い「骨折」と向き合っている院長は、「骨密度には若い頃から注意を払うことが必要です」と骨粗しょう症の予防意識を高めることに注力をする。骨密度検査ではDEXA法による精密な骨密度測定を行い、骨密度の低い患者にはまず食事や運動などの丁寧な指導を実施。それでも改善しない場合は、患者の骨の状態に合った注射や投薬治療を行っている。

整形外科診療は原因をしっかりと突き止めることが重要だと語る政田院長。エックス線検査のほか、問診で日常生活や仕事で多い動作などを丁寧に聞き取ることをモットーとする。「患者さんを理解した上で丁寧に説明し、納得してもらおうことで、その後の治療もうまく進みます。つい診療が長くなってしまいがち

検査・診療、リハビリから手術の立ち会いまで一貫して患者に寄り添った医療を提供

し、即時に予約を取り予約票を発行。治療スピードの効率化を図り、患者の時間的負担を軽減する。「痛いと思ったら我慢せず、コンビニエンスストアに行く感覚で来てほしいです」と話し、気軽に行ける地域のかかりつけ医として検査・診断から治療、手術、リハビリテーションまで一貫して手がける仕組みを整えている。こまやかな感染症対策を行うことはもちろん、混み合いがちな時間の待ち時間を軽減するためウェーブ予約も可能にし、通いやすい体制を整えるなど、患者本位のサービスも重視している。



4 運動療法や薬物治療を中心に、リハビリテーションまで対応

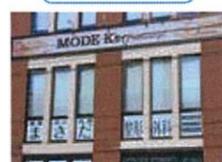
早期発見・早期治療  
に向けて

「ちょっと腰が痛いな、くらいでもコンビニに行くような感覚で気軽に受診してもらいたいです」と政田院長。その裏には、これまで多くの整形外科手術を経験してきた院長が考える整形外科疾患の早期発見、早期治療の重要性を発信したいという思いが隠れている。特に女性は骨粗しょう症のリスクが高く、閉経を迎える前後の検査は重要。DEXA法による骨密度測定装置で精密な検査を行い、骨密度が低い場合は、まずはカルシウムを取る食事の指導や筋肉などを鍛える運動指導を行うことからスタートする。運動においては同院の広いリハビリテーション室にある機械を使っのトレーニングも可能だ。



骨密度の精密な測定ができる機器をそろえる

DATA



Tel 0798-69-3330  
Add 西宮市西福町5-16  
野村ビル201  
Parking 無  
Close 日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—	—
16:00~19:00	●	●	●	—	●	—	—	—

Map P000 X-0 関連記事 P000、000



編集部 eyes

広くて奥行きのある待合室は、オフホワイトとストーン模様の壁紙で、ホテルのロビーのような雰囲気。診察室、リハビリテーション室には緑を多く取り入れており、痛みや不安を抱えて来られる

患者さんの心を癒やすような空間づくりがされていました。リハビリテーション室はとて広く、ベッド数に余裕があり、ゆったりとした気持ちで理学療法士さんの施術が受けられそうです。